

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 2月 19日

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名:放課後等デイサービス じゃんけんぽんプラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	100%	0%	・法令を遵守したスペースを確保しています。 ・天井も高く、快適に過ごせる環境を整えています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。 ・郊外学習等の際は、より配置を多めにしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・バリアフリー化されており、トイレも広く、着替えやヘルプもしやすくなっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・月1回ミーティングを行い、全職員で問題点の把握に努めていますが、その他個々にも取り組みに対し責任者と支援内容について話し合い共有しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・貴重なご意見や自己評価の結果を真摯に受け止め、改善につなげる努力をしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ブログにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		・現在は行っていないため、今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・外部講師による研修を行っています。	・事業所内外を問わず、積極的に研修に参加する機会を増やすよう検討していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・半年に一度、その他必要に応じてアセスメントを行い、個別支援計画を策定して支援を行っています。支援員とケース会議を行い、保護者と本人のニーズや課題に合う目標を心がけています。 ・日ごろから保護者と話す時間を大切にしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・お子様の課題やニーズ、興味に合うプログラムを話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・お子様の特性や課題に合う活動内容を毎回検討し、今年度は新たに「科学遊び」「茶道」を取り入れました。 ・曜日固定でご利用の場合でも毎週違ったプログラムを楽しんでいただけるよう(クッキング、体操、音楽療法、工作等)工夫しています。 ・また「作業体験」「面接」「マナーを学ぼう」等を取り入れ、将来の就労を視野に入れた活動にも取り組んでいます。 ・夏祭りやクリスマス会等季節に合わせた活動も実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・長期休暇では、自立や社会性適応能力の向上を目指すトレーニングを活動の中に取り入れ、個々の課題にじっくりと取り組めるように支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・小さな変化を見逃さず、必要に応じてアセスメントを行い、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を策定しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・長期休暇の期間は支援開始前には必ず打ち合わせをして支援内容や役割分担を確認しています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・職員各自帰りの時刻が違うので、緊急なことがあればその日のうちに行いますが、そうでなければスタッフ間の連絡ノートに書いて伝えるようにしています。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・連絡ノート、業務日誌等で記録を残し、支援の検証や改善に努めています。		

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に一度以上モニタリング、計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	・ガイドラインにある基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・職員全員でお子様の状況を把握した上で主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・行事予定や下校時刻表等は保護者様を通じてお伝えいただくよう学校から指示をいただいておりますが、お子様の学校での様子等は情報共有を行っています。 ・学校送迎時には担当の先生にその日気づいたこと、気になっていることなどを聞くようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・現在は、医療的ケアが必要なお子様はいませんが、今後必要場合は主治医との連携も必要と心得ています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				・お子様が中高生と年齢が高いため、就学前の諸機関とは連絡は取っていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・移行の際には相談支援専門員を通して情報共有をしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		・現在は連携や助言、研修を受けていませんが、今後は参加するように検討予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		・保護者様からの希望がないため現在は行っていませんが、必要と判断した場合には計画し実施する予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	・必要に応じて児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡ノートの記載、送迎時の対話、電話、LINE等様々な手段で積極的にお子様の様子を伝え、共通理解に努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		・現在トレーニングは行っていませんが、今後保護者様との面談の際にケアを行えるよう努めていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時や問い合わせがあった場合にはその都度説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・定期的に電話や面談を行い、保護者様の支援につながるよう助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・今年度はフリー参観の日を設け、多くの保護者様に子どもたちの活動の様子をご覧いただきました。	・今後は保護者様同士の連携を図れるような機会を考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情窓口を設置し、時間外に苦情が寄せられた場合にも緊急連絡網を利用して迅速かつ的確に対応する体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・お便りやブログ、LINEのタイムラインなどの他、今年度からInstagramも始めて子供たちの活動の様子をお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・契約時に説明を行い、法令順守に努めています。 ・毎回の利用時に一人一人の持ち物(連絡ノート等)の渡し間違いがないか気をつけています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・言葉だけでなく、カードを使用したり、ホワイトボードに文字で書いたりしてコミュニケーションを取っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・新型コロナウイルスのため、現在は開催していませんが、今後検討予定です。 ・見学はどなたでも可能です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・緊急時、感染症、災害時の対応マニュアルを作成し、契約時に保護者様に説明を行っています。	・今後防犯についてのマニュアルを策定することが課題です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的に避難訓練を実施し、備品のチェックも行っていきます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・ミーティング時に資料とともに確認しています。 ・今年度は責任者が外部での研修に参加し、その内容を社内研修に生かしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		・現在身体拘束は行っていませんが、今後必要な場合には職員で会議を行い、保護者様から了解を得た上で個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・医師の指示書はないが、契約時のフェイスシートで保護者様からアレルギーの有無について確認し、職員間で共有しておやつやクッキングの際に気をつけています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハット報告書を作成し、その都度職員間で共有して同じことが起こらないよう改善に努めています。	